

**素材製作遊び**

素材集めのご協力ありがとうございました。保護者の皆様がいろいろな素材を集めてくださったおかげで、「見て、この丸い箱、新幹線の前の丸いところやねん」「大きい箱が欲しかってん。あったわ！」などと言って、子どもたちは自分のイメージにぴったり合う素材を選ぶことができました。ありがとうございました。

箱を組み合わせて形づくったら「ピンクの体にしたいんだよね」「ユニコーンちゃんの角をおしゃれにしたいの」「ここはアイスが食べられる場所だよ」「これはお布団だから貼り付けないの。ふわっと掛けておいてね」などと言って、一つ一つの思いをポリビニールや包装紙、リボン、モールなど、いろいろな素材を使って飾り付けていきました。作品のそれぞれの部分に思いやお話が詰まっているので、ぜひ作品をご覧になった際には、ゆっくりとお子さんを聞いたり尋ねたりして楽しんでください。

友達と話しながらつくっていたり、もくもくと集中してつくっていたり、誰もが自分の製作を楽しんでいました。テープの貼り方一つを取っても、貼る向きを何度も考えて貼っていたり、素材同士がくっつくようたくさん貼っていたり、『頑張った跡』にも目を向けてみてください。もも組の今の子ども達だからこそできる作品ばかりです。

**芋掘り（遠足）**

何度も何度も延期になり、そのたびに臨機応変にご対応いただきありがとうございました。子どもたちは「お芋ほり早く行きたい～～～」と毎日毎日待ち遠しくしていました。「お芋ちゃん、土の中で待ってくれてるんかな…」といいも畑に思いを馳せている姿もありました。

当日は、楽しみすぎるあまり、道中で「おい～もごろごろおいも♪」と友達と一緒に歌いながら、芋畠までの道のりを進んでいきました。畑にたどり着いて、芋掘りを始めた途端のもも組の集中力と熱心さと言ったら！土の中から芋が見えてきたことを喜び、懸命に懸命に掘り進め…「先生～！見て～！めっちゃ大きいお芋やで～！」と、誰もが自分の掘った芋を満足げに見せてくれました。「手伝おうか？」と声をかけると、「いい。自分でやるから」と、どうしても自分の力で掘りたいという姿もあって、成長を感じました。

持ち帰った芋は美味しかったですか？何日か土の中でもも組のことを待ってくれていたので、どうだったかな～？と思っています。「てんぶらにして食べたよ！」「おいしかったよ！」と教えてくれた子どももいました。

**球根の水耕栽培**

球根を子どもたちに見せると「玉ねぎやろ？」という第一声。「玉ねぎの形にそっくりだね」と話していると昨年度の経験から「チューリップの球根ちゃう？」という気付きがありました。お部屋で育てるには、土がないという話になり、「この球根はお水だけで育つんだって」と水耕栽培用の鉢を見せる、「すごい！育てよう！」とわくわくしていました。しかし、「このまま置いてたら大きくなるんかな～？チューリップの球根は土の中で寝てたやんな～？」という話になり、明るい部屋では寝れないから、暗くすることにしました。部屋の電気を消したもののは、ずっと暗いままで、自分たちが過ごせない…。「じゃあ球根ちゃんの小さいお部屋をつくってあげよう」ということになりました。一つの球根は「ハートちゃん」もう一つは「ほしちゃん」という名前になりました。毎朝「大きくなってるかな？」とそっと覗いては、根が伸びてきていることに大喜びしています。3連休明けには伸びた根っこを見つけて「スカートみたい」と喜んでいました。ちなみに、何の花の球根なのかは、もも組の子どもたちに知らせていません。きっともも組の子どもたちはチューリップが咲くと思っていると思います。実際に咲いたとき、自分たちで調べて考えることができたらいいなと思っています。

